



# 福山市障がい者 総合支援協議会

# つうしん

Vol.7

2020年 7月発行

「福山市障がい者総合支援協議会」では、保健・医療・福祉・教育・就労など多分野多職種の関係者が集まり、障がいのある人の地域生活における課題等を共有し、その解決に向けて取組みを進めています。

## 🌸 運営会議 🌸

障がい者総合支援協議会のエンジンとして、協議会の総合調整・企画・立案・専門部会への指導・助言などを行います。



### 2019年10月～2020年3月の活動状況

1月16日（木）に、第3回の運営会議を開催しました。第3回の運営会議では、今後の運営会議の進め方についてグループワークをし、意見交換を行いました。3つのグループに分かれ、活発な意見交換ができました。

来年度からの運営会議に生かしていきたいと思えます。

\*3月12日（木）に、第4回の運営会議を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止となりました。

## 🌸 相談支援部会 🌸

相談支援専門員のスキルアップを目的として、研修会等を開催しています。

## 🌸 相談支援事業所連絡会 🌸

市内の相談支援事業者が参画し、相談支援専門員のスキルアップを目的として、事例検討や情報交換等を行っています。



### 2019年10月～2020年3月の活動状況

#### ◆避難行動要支援者の 災害対応について◆

**今年度**は、西日本豪雨災害を踏まえ、福山市の避難行動要支援者の取り組みをもとに災害対策を中心に研鑽しました。ふだん利用者と相談支援専門員との関わりは非常に深くても、いざ災害が起こると相談支援専門員だけではどうすることもできない状況でもありました。災害時の対応を考えるうえで、やはりその人の住んでいる地域との関わり的重要性を感じ、地区民生委員を招いての意見交換やいち早く地域での災害対策をされていた地域包括支援センターとの情報交換を行いました。効果的な対策まではいきませんでした。部会員の機運の醸成につながったのではないかと思います。

**次年度**は、地域生活支援拠点等の事業も始まってまいります。5つの柱の中に『地域の体制づくり』があります。相談支援専門員はすべての柱にかかわるとは思いますが、相談支援部会としては、今年度つくった地域とのつながりをさらに深めていければと思います。

## 発達支援部会

ライフステージにおける繋ぎのための連携や支援体制システムづくりをめざしています。

2019年10月～2020年3月の活動状況

開催（10月・1月・2月）

10月

実態報告『保育所・幼稚園に通う子どもたちの実態と課題について』

報告 ①保育課 工藤委員 ②学びづくり課 宮里さん



- \* 保育所、幼稚園における「発達に課題をもつ子」の取り組みが報告された。3歳児健診未受診など早期に繋がっていないケースも多い。4歳児から初めて集団に入る児童も少なくなく、生活習慣が身に付きにくいことや、貧困や育児不安などの保護者支援も課題のひとつである。取り組みとして介助員などを状況に応じて配置し、チームで保育を行い、その子にとって一番大事なことを考える視点を持ち、共通理解を深めることなどがあげられた。公立保育所、こども園での取り組みは、発達に課題をもつ未就園児の支援として「さくらんぼ広場」、ことばの相談室（療育施設との併用は難しい）8ヶ所設置、そして就学に向け保護者と子どもの姿や課題を共有するための一つとして5歳児発達相談などを2016年度から行っている。発達支援の必要な子どもが増える中、関係機関と結びつき、よりよいシステム作りを具体化していくことが求められる。

### 研修会

日時：10月30日（水）13:30～15:15

会場：エフピコ RiM ふくやま

テーマ：「早期発見・早期療育のシステムづくり」

～乳幼児期を地域で支えるために～

講師：近藤 直子 さん（全国発達支援通園事業連絡協議会会長）



### ◆内容報告◆

#### （1）ていねいな子育て・保育の保障「健康な生活と愛着関係の育成を」

『子どもたちの人生の出発点にふさわしい生活の保障』として、子どもらしく過ごせる生活と親子の間によい関係を築くことが大切である。そのためにも、親子にとって「楽しいことがいっぱいある」アンテナを広げていくことが重要となり、安全で安心できる安定した生活の保障に向けて、育てにくさを感じた時に療育がスタートできるよう“ゼロ歳児からでも通える場”，保護者が安心して子育てできるよう“仲間や応援団と出会う場”，子どもがたっぷり遊びぐっすり眠る生活が送れるよう“生活リズムの形成を支える・昼間の時間を充実させる場”が必要となる。そこには、障がいだから通うのではなく、「子どもの姿が変わっていくから通いたい」と思えるような“子どもに必要なものが届く”支援が求められる。保護者が子どもの発達の偏りや問題行動に振り回されることがないように、ていねいな子育て支援の中で“子どもの笑顔が保護者の安心に繋がる・お母さんが喜ぶと子どもも喜ぶ”という親子関係をプラスなものにしていく。そのプラスの循環を形成するために、『親子教室』や『親子療育』が必要である。

(2) 子育てに見通しが持てる地域づくり「地域の中で親子が安心して暮らすために」人間はみんなできないことを持っていて、できないことは不幸ではない。親子が毎日楽しく生活できるように、いろんな支援の仕組みを持つことが大切である。「早期発見・早期療育」に向けて、どういったネットワークでその家族を支えていくのか、保健センター、児童発達支援センター・事業所、保育所・幼稚園が繋がりを持つ必要がある。その中で、全ての親子と出会える「保健師」はキーパーソンであるため、保健師を中心に連携していくことが重要である。また、子どもには選ぶ力があり、意見表明権があることを忘れてはいけない。そして、子育てに見通しが持てる地域づくりに向けて、地域のニーズに基づく施策化を展開することも必要である。

### ◆感想◆

「見つけたかぎりは支援をしていきたい・支援を届けたい」という近藤先生のことばが心に響きました。笑顔で母が子どもに向き合えるよう0～3歳の子どもへの支援の仕組みを福山市で発展できたらと思いました。

## 🌸 権利擁護支援部会 🌸

障がい者の権利擁護を推進するため、障がい者虐待防止・障がい者差別の解消等について、取り組みを進めています。

### 2019年10月～2020年3月の活動状況

権利擁護支援部会では、「成年後見作業部会」と「障がい者虐待防止・差別解消作業部会」を設けています。成年後見制度への理解を深めるための研修会、障がい当事者の経験を語っていただく講演会、「障がい者週間ポスター」の募集を行いました。

#### 研 修 会



日 時：1月14日（火）13:30～15:00  
 会 場：エフピコ RiM ふくやま  
 テーマ：「成年後見制度における、  
 障がい者(高齢者)の意思決定支援について」  
 講 師：岩谷社会福祉士事務所 岩谷 みさえ さん

#### 講 演 会

日 時：1月30日（木）13:30～15:00  
 会 場：福山すこやかセンター  
 テーマ：歩んできた道「私は、障がい者である前に  
 ひとりの人間として生きたい」  
 講 師：籠田 玲子 さん 参加者：110名



## 就労支援部会

障がいのある方の「自分らしい働き方」の実現のため、就労系福祉サービスや一般就労との連携を深め、切れ目のない就労支援をめざしています。



### 2019年10月～2020年3月の活動状況

- (1) 『就労継続支援A型事業所の経営改善について』  
福山市と中小企業診断士より、経営改善に向けた指導や事業所の現状を報告いただき、情報共有や意見交換を行いました。
- (2) 『就労継続支援B型事業所の現状と課題について』  
昨年度の報酬改定から1年経過した今のB型事業所の現状や課題、また社会福祉事業の役割について意見交換を行いました。
- (3) 『シンポジウム：わたしのワークライフ』  
障がい者雇用における企業の取り組み、障がいのある人が就労する中で感じている思い、支援者としての思いを、それぞれの視点から話していただきました。

日時：2月15日（土） 14:00～15:30

会場：福山すこやかセンター 参加者：71名

シンポジスト：

① 中小企業家同友会

有限会社メタルワーク福山 代表取締役

大植 栄さん

広島県中小企業家同友会 事務局長

源田 俊彦さん

② 府中市民病院

府中市民病院 人事課

浅野 公理さん

就労継続支援 B 型事業所 C's Inc.

吉本 玲佳さん

③ ツネイシチャレンジド株式会社

東部地域障害者就業・生活支援センター

片岡 崇さん

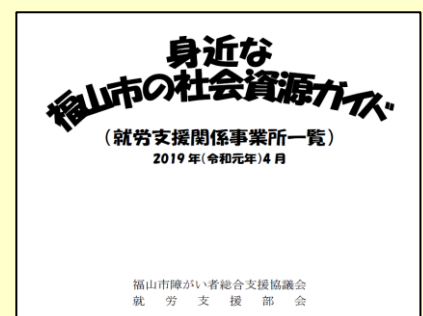
樫木 智彦さん



## 『身近な福山市の社会資源ガイド』を更新！

福山市内の就労に関する障がい福祉サービス事業所一覧を更新いたしました。各事業所の活動内容や特徴を掲載しておりますので、ご活用いただければ幸いです。

\* 福山市障がい者総合支援協議会のホームページにも掲載しておりますので、ご利用ください。



## 地域生活支援部会

「誰もが、自分らしく安心して暮らし、社会へ貢献できる地域づくり」を進めるために支援体制の構築に向けて具体的な取り組みを進めています。

### 2019年10月～2020年3月の活動状況

#### ☆地域生活支援拠点等の整備について

5つの機能のうちまずは「相談」「緊急時の受け入れ」を面的整備型で整備していくという市の基本方針を受けて、協議を重ねています。

地域支所を中心としてエリア毎に整備を進めていくこと、モデル事業を選定していくこと、予算措置は2021年度以降となるため既存の社会資源を活用しながら対応することなどが現時点で検討されており、地域により良い体制が具現化されるよう、今後も部会として参画していきます。

#### ☆活動紹介：福山市福祉を高める会連合会「あおばふれ愛サロン」



#### ◆各作業部会の取り組み◆

##### 住まいの場作業部会

- ・7月の「障がいのある人の入居に関する意見交換会」の振り返り
- ・居住支援ツール『住宅確保・移行に向けて』を実際に使用した事例報告・意見交換（事例提供；社会福祉協議会安心生活見まもりセンター）
- ・広島県居住支援協議会『住宅確保要配慮者の居住支援に係る相談対応マニュアル(案)』について協議

##### 社会資源ガイド作業部会

- ・『福山市内で活動されている自助グループ』を作成（2年毎に更新）
- ・『さまざまな相談窓口』とあわせて委員の所属する医療機関の待合いへ設置
- ・作成したパンフレットが必要な人に届くよう効果的な広報の方法について検討

##### 普及啓発作業部会

- ・11月と12月に出前講座を開催（民生児童委員協議会・ろうあ協会・手話サークル）
- ・災害支援に取り組む相談支援部会と連携するため、情報共有と意見交換

★2月6日開催の地域生活支援部会において、各作業部会の成果と課題について振り返りを行い、今後も、地域で生活している障がいのある方が、より豊かに生活できるよう支援を行っていく想いを部会員一同で共有いたしました。

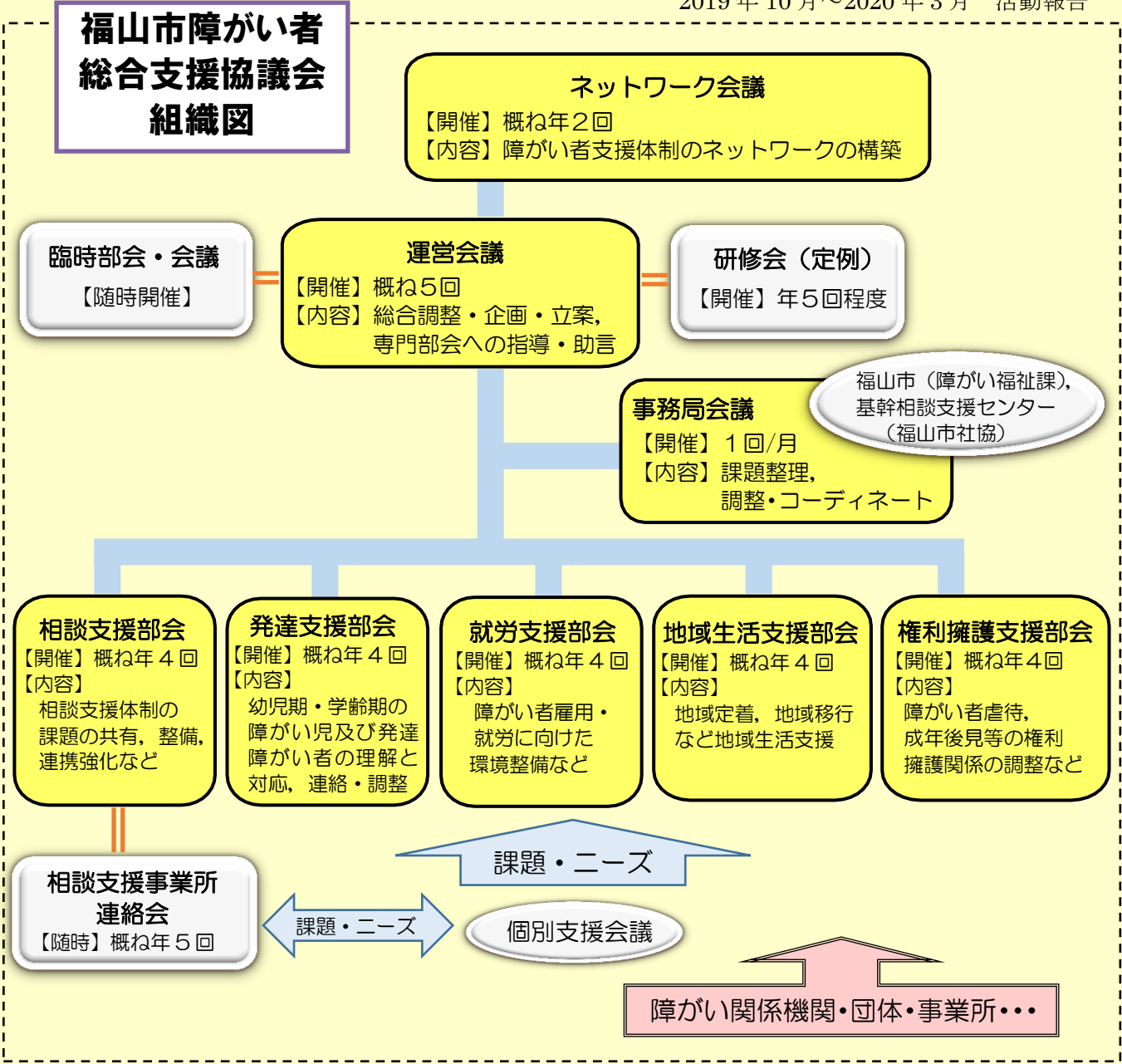
#### ～普及啓発作業部会 作成『こんなときどうするの?』のご紹介～

各障がい特性に応じた必要な配慮等を記しています。『こんなときどうするの?』を用い、今年度は4回の出前講座を行いました。今後も、市民の皆様への啓発に力を入れていきたいと思っております。

\*福山市障がい者総合支援協議会のホームページにも掲載していますので、ご利用ください。



# 福山市障がい者 総合支援協議会 組織図



ホームページを開設しています。ぜひ一度ご覧下さい。

<https://www.f-shakyo.net/syogaisyashien/>

もしくは

福山市障がい者総合支援協議会



〈発行〉福山市障がい者総合支援協議会 広報委員会

〈事務局〉福山市障がい者基幹相談支援センター(クローバー)

住所：福山市三吉町南二丁目11-22

福山すこやかセンター内

TEL：(084) 973-0968

FAX：(084) 926-7111

Mail：[f-shakyo-kikansoudan@apricot.ocn.ne.jp](mailto:f-shakyo-kikansoudan@apricot.ocn.ne.jp)

質問・ご意見等ありましたら、お気軽にご連絡ください。

